

コロナ禍で断絶された“ファッションと街”を改めて発信 “ブルーナボイン”がハロウィンの渋谷に遊び心を仕掛ける！ 新規プロジェクト「ブルーなボイン？」が始動！ 第一弾：渋谷ジャック 10月16日(金)～スタート

有限会社旅姿七人社（本社：大阪府大阪市、代表者：辻理裕）が手がけるコレクションブランド「BRÚ NA BÓINNE（ブルーナボイン）」は、ブランドが大切にしている“遊び心”を様々な場所や人に仕掛けていく新規プロジェクト「ブルーなボイン？」を始動し、第一弾として渋谷ジャックを10月16日（金）から開始しました。



ファッションにとって街は、ときにカルチャーの源泉となるなど切っても切り離せない関係にあります。しかしコロナ禍に見舞われた今年は、街でファッションを楽しむ機会が奪われ、今までになくファッションと街が断絶されました。ファッションの街・渋谷も例外ではなく、これまでになく厳しい状況が続いています。

そこで、街×ファッションのパワーを少しでも取り戻すべく、ハロウィン時期の渋谷に対し、ブルーナボインがデザインで大切にしている“遊び心”を仕掛けるプロジェクトを実施することにしました。

具体的には、ブランド名を模した遊び心のある「ブルーなボイン？」というキーワードが、渋谷センター街周辺に大量発生します。クスッと笑えるキーワードの前で、自由なポーズでその日のコーディネート撮影することで、遊び心のある写真を撮ることが可能です。

本来ならばこの時期の渋谷は、ファッションと街と遊び心がクロスし活気に溢れる場所です。そんな渋谷から発信することで、コロナ禍でファッションを楽しむ機会を奪われた人々がファッションの楽しさを今一度感じてもらうきっかけになればと考えています。

■「ブルーなボイン？」第1弾概要

日時：10月16日（金）～29日（木）

場所：渋谷センター街周辺全12箇所

BRÚ NA BÓINNE について

1997年、デザイナー辻マサヒロ、徳田直子により設立。

遊び心とカッコよさを併せもつデザインで、大阪を拠点にメンズ・レディースウエア、バッグ、アクセサリーを中心に展開。国内屈指の生産背景を駆使した素材へのこだわりや、独自のパターンメイキング、毎シーズン、イラストから制作しているオリジナル生地など、徹底的にこだわり抜く服づくりへの姿勢には、長年のファンも多い。「いまだかつて人の行かぬ道を心猛く進む」をブランド哲学に、つねに進化を続ける、唯一無二のブランド。

■BRÚ NA BÓINNE (ブルーナボイン) 2020AW コレクション「ケモノのチカラ」

恐ろしくも艶やかな姿は、ケモノ本来の原始的な美しさを忘れつつある現代人にとって、もはや未知の世界
人は未知なる世界に憧れるケモノには
人が進化の過程でなくしてしまったという危険を察知するチカラが秘められている
ケモノたちの特別なチカラを身にまとい、未来にすすむ者だけが、その答えをみつけれられる



2020AW コレクション画像：<https://bnb-onlinestore.jp/collection.html/3>

■BRÚ NA BÓINNE (ブルーナボイン) デザイナー

辻 マサヒロ

服飾専門学校、企画会社でモノづくりの基本を学び 1997 年に徳田直子とともに“ブルーナボイン”を立ち上げる。一点一点細部まで完璧に考え込まれていながらも、そこに重きをおかず、正に”モノ創り”に徹している。(有) 旅姿七人社代表。

徳田直子

服飾専門学校を経て、企画会社にて経験を積み 1997 年に辻マサヒロ氏とともに“ブルーナボイン”を立ち上げる徳田にしか持ち得ない独特の感性と確固とした感覚で各バイヤーを魅了し続けている。